

令和3年度 甲府工業高等学校 「全国募集」 募集要項

1 募集人員

工業科：機械科、電気科、電子科、建築科、土木科 計7名
(内訳) (2) (2) (1) (1) (1)

2 応募資格

- (1) 本校を志望する動機や理由が明白・適切であり、下記の「出願の条件」に適合すると自ら考えるもの。
- (2) 中学校までの学習内容や基本的な生活習慣が身につけているとともに、高校入学後も明確な進路目標を持ち、学習や部活動に熱心に取り組む者。
- (3) 「身元引受人」が確保できる者。

※ 身元引受人とは、生徒の健康、食生活および日常生活に関する見守りを行い、生徒の状況を保護者や学校と共有する等の役割を担う方です。基本的には山梨県内に居住する親戚等を想定していますが、該当する方がいない場合は学校にご相談ください。

3 選抜方法

(1) 出願の条件

工業科B

本校の部活動に関する体育的な活動において、顕著な成績をあげ入学後も積極的、継続的にその活動を続ける意思の強い者で、次に該当する者。

中学校時の諸活動において都道府県大会ベスト8以上の者、またはそれと同等以上の力量があることを公的に証明できる者、もしくは「中学校長が認める証明書(甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書)」を提出できる者。

【本年度全国募集対象部】

陸上・駅伝、サッカー、バレーボール、卓球、ラグビー、ハンドボール
柔道、剣道、自転車、ボクシング、野球

(2) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校及び志望学科を志望する動機と興味・関心、学習意欲、入学後の高校生活への意欲、将来の希望や特技等確かめる。	集団面接	15分程度

(3) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
個性表現	5分以内の発表・表現を行う

(4) 選抜資料比重

区 分	調査書	面接	所見	特色適性 検 査	個性表現
工業科B	50	20	10	—	20

※調査書の学習の記録については、第1学年から第3学年を評価の対象にする。第1学年の評定、第2学年の評定、第3学年の評定の比は、1：1：2とする。

(5) 提出書類等

＜工業科Bで出願する者＞

- ①提出書類 甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書
- ②添付書類 実績を証明する資料（賞状、新聞等）のコピー（A4判）を甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書裏面に貼付して提出する。
- ③甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書については、本校事務室にて随時入手することができる。また、本校のホームページでも令和2年10月1日（木）以降にダウンロードすることができる。

URL <http://www.kofu-th.ed.jp/>

※「中学校等の臨時休業の実施等を踏まえた令和3年度高等学校入学者選抜等における配慮事項について」（令和2年5月13日付け2文科初第241号初等中等教育局長通知）を踏まえた山梨県教育委員会の対応につきましては、高校改革・特別支援教育課のHPをご参照ください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/koukai-tokushi/nyuusi/saishinnonyuusi.jouhou.html>

4 学生生活のサポート

本校には男子寮があり、現在、野球部、柔道部の一部の生徒が寮生活を送っています。寮の詳細については、本校までお問い合わせ下さい。

5 学校の特色

本校は大正6年に創設され、産業界に多くの技術者を送り出し、その活躍は各分野で高い評価を得ています。

全日制には機械・電気・電子・建築・土木の5科が設置されており、生徒は充実した快適な環境のもとに、学習に部活動に活発な学校生活を送っています。

校舎には、激しく変化する技術革新に対応できる、工作機械や各種実験装置など多様で近代的な設備を備え、21世紀の新時代を切り開いていく生徒の個性や能力を十分に伸ばすことのできる快適な教育環境が整えられています。

また、平成29年4月より文部科学省の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」に指定され、「地域産業を支え、地方創生を創造するエンジニアの育成」を主なテーマに実践研究を行っています。

今までの伝統・校風を重んじる中で、教育信条にも謳われている「人間教育」の基礎となる部活動の強化、専門教科の深化を図り工業技術者の養成を目指した「キャリア教育」の充実、そして工業系大学進学を目指した「ハイパー甲府工業構想」を実践し、全国トップレベルの工業高校を目指しています。

6 本校の部活動

本校では文武両道を目指しており、県内で最も部活動が盛んな高校です。山梨県独自で行われている全ての運動部が参加する『山梨県高等学校総合体育大会』では平成30年度、令和元年度と元号を跨いでの連覇を成し遂げる偉業を達成しました。

令和元年度インターハイ出場部：卓球、ソフトテニス、テニス、新体操、ボクシング、自転車

令和元年度関東大会出場部：卓球、ソフトテニス、テニス、新体操、ボクシング、自転車、弓道、陸上・駅伝、剣道、山岳、柔道、バドミントン、バレー

野球部：春5回、夏8回、計13回の甲子園出場、平成30年度関東大会出場

7 自ら学ぶ意欲を尊重する学科の内容

【機械科】～「ものづくり」の楽しさから創意工夫への挑戦～

自動車・ロボット・工場の生産設備など生活を豊かにする製品をつくるために必要な知識と技術・技能を学び、将来、広くものづくりの分野で活躍できる人材を育成。

【電気科】～パワーエレクトロニクスの最先端技術を目指して～

電気や通信を敷設・整備する能力を身につけるために専門分野を学び、電気工事士などの資格を取得することにより、電力関連企業や各種メーカーなどの管理技術や生産設備の設計の分野で活躍する人材を育成。

【電子科】～高度情報化社会をリードする力を～

コンピュータを構成する電子回路やソフトウェア、電子機器やロボットの制御、インターネットを可能としたネットワーク技術などの基礎を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成。

【建築科】～一人ひとりの感性と能力を発揮させる～

住宅から高層建築まで、様々な建築物の設計方法と造り方を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成。

【土木科】～知識と技術で人々の暮らしをつくる～

道路・鉄道・トンネル・ダム・橋などの社会に必要な構造物を建設するための設計方法や測量方法を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成。